

内折式卓球台取扱説明書



警告

以下の警告を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。



移動・設置・収納は、必ず同じ体力を持つ大人2名でおこない、子供・生徒・高齢者だけでしないこと。

連結部や天板の合わせ目などは、指や手などを挟み込む可能性があります。正しい方法で使用すること。

卓球台に重い物を置かないこと。体重をかけたり、腰かける、のぼる、もぐるなどしないこと。

- 管理者から指導を受け、よく理解してから使用すること。
- 必ずアジャスターの調節を行い、がたつきや傾斜がない状態で使用すること。
- 使用前は点検のポイントに沿った点検をおこない、異常が見られた場合には使用しないこと。
- 移動・設置・収納をする前は、周囲に子供や部外者がいない事を確認すること。
- 段差や凹凸がある床面での移動、および、カーペットなど柔らかい床面ではキャスターの動きが制限され、卓球台の破損につながるばかりでなく、転倒の危険性もあります。そのような場所での使用を避けると共に、段差を無くす処置を講じること。
- 管理者は使用前に取扱説明書をよく読み、使用者に対し卓球台の使い方を指導すること。また子供・生徒・高齢者・部外者だけの使用が予測される・長期間卓球台を使用しない・破損等により使用できない・管理者の目が届かない状態になる場合などは、『使用禁止』等の表示をした上で、安全に保管ができるように処置を講じること。



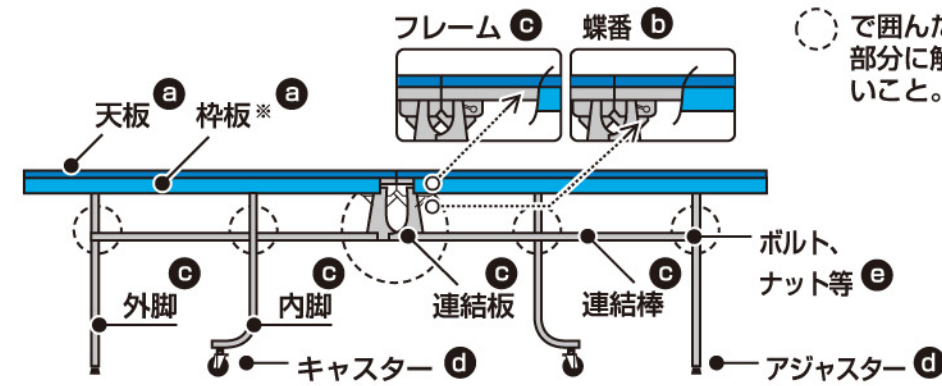
注意

以下の注意を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う、または物的損害を負うおそれがあります。

- 本製品を卓球の目的以外に使用しないこと。
- 本製品は屋内用です。屋外で使用しないこと。
- 必ず折りたたんだ状態で、直射日光のあたらない、湿度の低い場所に保管すること。



各部の名称と点検のポイント

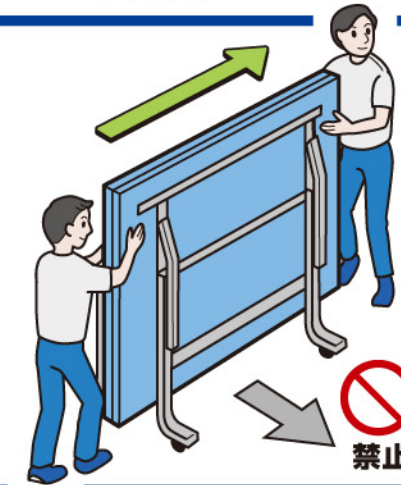


点検のポイント	
a	ひびわれ・かけ・ささくれはないか？
b	変形・脱落はないか？ 作動状況の確認。
c	変形・塗装はがれ・溶接のきれつ・キャップの脱落はないか？
d	変形・磨耗・脱落はないか？動きはスムーズか？
e	変形・ゆるみ・脱落はないか？

※枠板のない機種もあります。
 ■ 破損、ボルトの緩み、変形が見られた場合は使用しないでください。
 ■ 詳しい点検・処置方法は添付の取扱説明書を参照してください。

移動のしかた

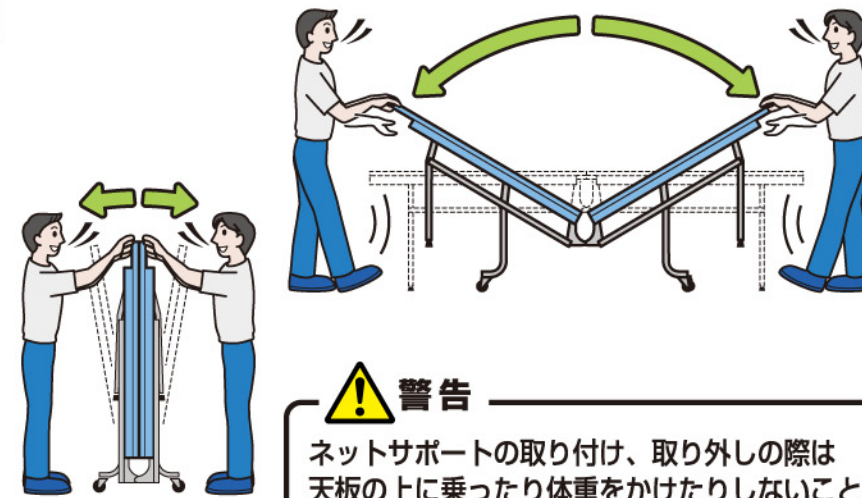
- 1 ストッパー付きキャスターは、ストッパーを解除してください。
- 2 天板・枠板の外側部分を持ち、2名同時に同じ程度の力でゆっくりと卓球台を移動させます。



警告
 斜面での移動は、卓球台の速度が上がったり卓球台が転倒する場合があります。非常に危険ですのでそのような場所での移動はおやめください。
 進行方向前方の人は特に足元に注意し、後方の人は前方の人の様子を確認しながらゆっくりと押すこと。

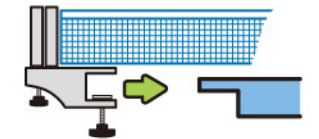
設置のしかた

- 1 ストッパー付きキャスターは、ストッパーを解除してください。
- 2 天板・枠板を持ち、声を掛け合って息を合わせ、2名同時に同じ力でゆっくりと開きます。



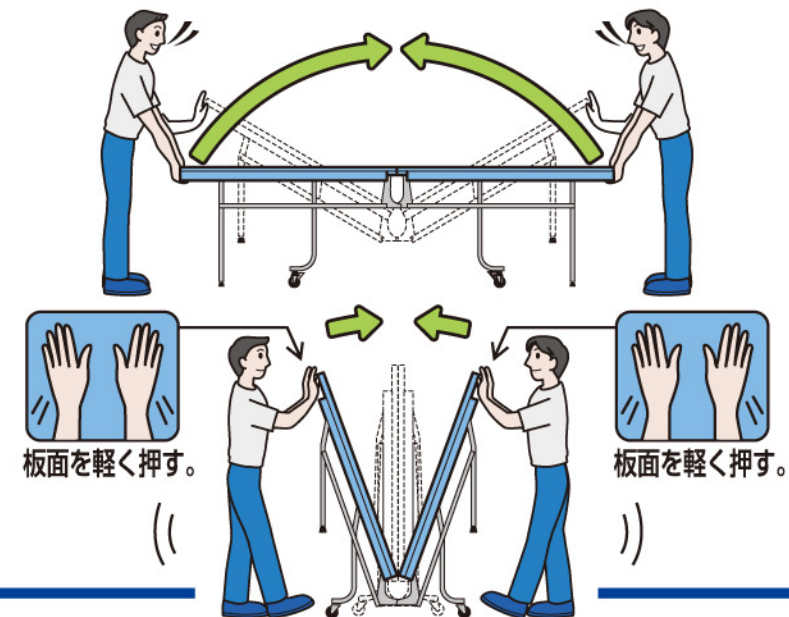
警告
 ネットサポートの取り付け、取り外しの際は天板の上に乗ったり体重をかけたりしないこと。

- 3 途中で天板・枠板を下から支える様に片手づつ持ち替え、アジャスターが床につくまで手で支えたままゆっくりおろします。
- 4 ストッパー付きキャスターは、ストッパーをかけます。
- 5 ネットサポートを取り付けます。



収納のしかた

- 1 ネットサポートを取り外します。
- 2 ストッパー付きキャスターは、ストッパーを解除してください。



- 3 卓球台の両サイドに1名づつ立ち、天板・枠板を持ち、声を掛け合って息を合わせ、2名同時に同じ力でゆっくりと持ち上げます。
途中で天板を裏から支える様に片手づつ持ち替えます。
- 4 徐々に卓球台が収納し始めます。最後は天板の裏を静かに押すようにして収納します。